

会報

いとす



2019年
紅葉号



第52回全国選手権大会

<http://www.karatedo.co.jp/itosu-kai>

3



型一般男子 51 歳以上の部優勝、十島選手



組手一般男子 51 歳の部優勝、山内選手

昨年は広島豪雨のあおりを受けて中止せざる得なかった全国大会だが、52回を迎えた今大会は、控えめな暑さの天候に恵まれ、無事に行われた。
組手競技に397名、型競技に397名、合計延べ794名の選手が参加。また中国・上海からも約30名が出場するなど国際色豊かに盛大に開催された。
1日目は会場整備の後、午後3時から型と組手の一般有段51歳以上の部が行われ、普段

令和元年8月24日(土)・25日(日)の二日間、広島県広島市・Hアリーナ呉にて第52回全国空手道選手権大会が開催され、全国から糸洲拳士が一堂に会した。

一生修練を具現化

第52回全国空手道選手権大会
令和元年8月24日(土)・25日(日) 広島県広島市・Hアリーナ呉



団体組手



型小学生7級以下の部・優勝、相川あん選手

は指導の立場にある超ベテランの先生方が互いにしのぎを削る光景が展開。組手一般男子では山内正克(愛媛本部)選手が、また型一般有段男女混合では十島清徳(拳志館矢野)選手が見事優勝を飾った。
2日目に行われた全種目では幼児から一般50歳までの各階級にて熱戦が繰り広げられ、生涯武道を目的にしたりした。



【組手競技団体戦一般】
1位/藤田道場 2位/阪南大学



組手小学5~6年女子・優勝、楊 稀雯選手(上海)

中でも一番元気のいい世代による団体組手は大坂・藤田道場が優勝し、怒涛の13連覇を達成した。
また参加人数が81名と、最も多かった型小学生7級以下男女混合の部では、相川あん(拳志館大野)選手がその激戦を見事勝ち抜き優勝を果たした。

糸洲流空手道沿革

糸洲流空手道は「首里手」の大家である松村宗棍師(1798~1890)に源を発し、近世の拳聖と世人に仰がれている糸洲安恒師(1830~1915)を流祖としている。

糸洲安恒師は、これまで「唐手術」と言う護身術であった「手」を体育的に改良再編し、学校体育に取り入れ人格形成に主眼を置いて昇華させた。

また、多くの型を創作し現在最も普及している平安(ピンアン)の型は、糸洲安恒師が作られたものである。

糸洲安恒師の「型」を最も正しく学ばれた摩文仁賢和師(1889~1952)は「糸洲派二世」を継承する。摩文仁師は「那覇手」の東恩納寛量師にも師事し、後に両師の頭文字をとり「糸東流」を創始する。

摩文仁師は「糸洲派」を後世に伝承させるため1952年1月、高弟の坂上隆祥(1915~1993)に「糸洲派三世」を継承させる。

坂上隆祥師は、1940年3月「糸東流空手道坂上道場」を兵庫県川西市の自宅に開設する。1954年8月に上京し、東京都葛飾区に「日本玄武館空手道場」を開設する。

1955年6月、横浜市鶴見区に道場を移転し「全日本空手道糸洲会総本部道場」を開設。これを契機に会名を「全日本空手道糸洲会」とし、これより「糸洲会」と呼称する。

1969年4月、正式に流名を「糸洲流」に、会名を「日本空手道糸洲会」と命名。ロゴマークも制定する。

1976年5月、坂上隆祥著「空手道大鑑・平安編」を会員向けに出版。続いて1978年10月「空手道型大鑑」を出版する。この本が型教材のベストセラーとして愛好者に幅広く好評を得て、現在5版を重ね発売中である。その他「ヌンチャク・釵」など琉球古武道関係の書籍を出版する。

1979年4月、糸洲流空手道の連綿たる歴史と技法が評価され日本古武道協会に空手道界初の加入流派として承認される。

1994年4月、門下生一同の推戴を受け、坂上隆祥の嫡子節明が「糸洲流四世」を継承する。四世坂上節明は「型で始まり、型で終わる」と言われる糸洲安恒、摩文仁賢和、坂上隆祥の三代より伝承された「糸洲流型」を忠実に守り、当流の保存振興のため国内外の後進の指導育成に努めている。

2007年1月より、坂上節明監修指導のもとDVD「糸洲流空手道型大鑑」を2年半の歳月をかけて2009年8月に「全5巻」(49型収録・英語字幕付)が完成。糸洲流空手道の「型」規範として大きな遺産となるものと確信している。

また、空手道の世界的発展に伴い、当流も国際交流の充実を目標に2002年8月、糸洲流加盟16カ所国にて「糸洲流空手道国際連盟(IKIF)」を結成する。

2005年7月アメリカ・ロサンゼルス、2009年7月マレーシア・クアラルンプール、2013年8月日本・大阪、2017年8月中国上海において「糸洲流世界空手道選手権大会」を開催する。2021年デンマークでの開催の準備を進めている。現在20カ国余りが活動中であり、さらに世界に広がりを見せている。

2018年5月 文責/坂上節明



糸洲安恒師



摩文仁賢和師



坂上隆祥師



坂上節明宗家

会報いとし 2019年 紅葉号 CONTENTS

第52回全国空手道選手権大会	3
三世代空手道【拳志館夢ヶ丘 中村祐実】	9
世界の中の空手道	10
大会レポート	11
今、注目の人「山本匡悟」選手	16
トピック	17
会員の声	20
道場紹介 北海道 常明館	22
訃 報坂上宗家夫人 周子様ご逝去楠原清誌	23
コラム「道草」	22
昇段審査合格者	23



団体組手優勝 藤田道場

発行者
日本空手道糸洲会総本部
〒230-0048
神奈川県横浜市鶴見区
本町通1-16-5
TEL 045-521-6318
FAX 045-503-2040
郵便振替 00950-5-37159
加入者 糸洲会機関誌
発行日 2019年10月1日



大会成功に重要な役割を果たす審判会議



大会開催に欠かせない役員・審判の先生方



選手に負けぬ気迫の判定



道場のユニフォーム姿の記録係



大会運営、影の主役、スタッフの皆さん

会報委員が見た 大会運営という 裏方仕事

大会の主役といえばもちろん選手たちであり、記事と言えば選手たちの写真・成績・コメントが当たり前だとは思いますが、今回は敢えて裏方の仕事について執筆させていただきます。

空手道を始めて数十年……。最初の20年くらいは何も考えず、道場の先生や親に言われるがまま、稽古に励み各種大会に選手として参加し、時には嬉し泣き、時には悔し泣き、人として成長させていただきました。三十路となった頃から審判員の道に入り、

「目から鱗」的な感じで、今まで自分が選手として大会に出場できたのは、数多くの各種役員の方々の御尽力のおかげであり「選手だけで大会は成り立たない」という当たり前のことに初めて気が付きました。

今までの御恩返しとして大会運営に積極的に係らなければ……。また、後進の育成もしなければ……。と、いつの間にか我が家は、空手道中心の生活になっていました。

本大会におきましても大会前日の午前9時半から大会会場への試合用マット(800枚)の運搬作業、午前11時半からの設置作業に67名もの方々にご協力いただき、また、午後1時からの審判員講習会には30名もの選手たちが協力してくれました。

大会当日には100名弱の役員が大会運営

第52回全国大会を終えて

大会実行委員長 芥川 佳子



今大会は、夏真っ盛りの8月24日、25日、広島県IHIアリーナで行われました。昨年度、西日本豪雨で甚大な被害を受けた際には、全国から励ましのお言葉をいただきありがとうございました。

さて、本大会は、幼児から60歳を超える選手が全国から一堂に会し、日頃の稽古の成果を十分に発揮した二日間でした。

型競技では、若い世代はもちろん、36歳、50歳の部、51歳以上の部に多数の指導者の先生方が出場されました。これは「生修練」



坂本杏南選手(拳志館昭和)による選手宣誓

を实践されたものであり、糸洲会のほころいでもあります。組手競技においては、団体戦にて藤田道場が素晴らしい内容で13連覇という偉業を成し遂げました。一方、ケガが多く見られたことが残念でした。

これは「距離が遠いからポイントとして取ってもらえない」という誤った認識、少年の部においては、「当たっても取ってもらえない」という誤った認識から生じたものと考えられます。

審判は競技規定を遵守することにより選手を育て、選手は、的確な突き・蹴り、及び防御を身につけていく必要性を感じました。

近年、小学1年生からマスターズまで、すべての年齢層が活躍する場(大会)ができました。我が糸洲会から多くの選手・審判・役員が各都道府県代表として出場でき、活躍されますよう祈念致します。

最後になりましたが、多くの招待審判員の先生方、保護者会の皆様のご協力をもちまして無事終了できましたことに感謝致します。



試合のあとはみんなでマットの後片付け



緊張のおももちの選手たち



あいさつする坂上節明会長・宗家



中国から参加した上海チームと藤田師範



棒術の演武



芥川隆行・審判長あいさつ



【組手 一般男子有段 (19～35 歳)】
1位/川口詩温(阪南大学) 2位/谷川義喜(藤田道場)
3位/杉原弘隆(拳志館昭和) 三好尚生(体誠塾 脇田)
5位/森井勇磨(藤田道場) 中川連(阪南大学) 廣田
一宇(藤田道場) 辰巳大樹(藤田道場)



【組手 一般女子 (36 歳以上)】
1位/酒井あさみ(常明館) 2位/星野千尋(吹田青
少年)



【組手 一般女子 (19～35 歳)】
1位/鈴木瞳(阪南大学) 2位/清水安優(拳志館黒瀬)



【組手 小学生2年生 (男子)】 1位/耿昱泽(中国上
海) 2位/岩崎海希(富永道場) 3位/竹田邦彦(拳
志館八本松) 张 祐铭(中国上海) 5位/柳生流里(創
心館世羅) 刘 家梁(中国上海) 竹田芳生(拳志館熊野)
岡本凌芽(拳志館 広)



【組手 小学生1年生 (男子)】
1位/中川勝翔(藤田道場) 2位/小林功宜(拳志館
熊野) 3位/古屋蓮(拳志館昭和) 吉本崇成(拳志館
からす小島)



【組手 幼児 (男女混合)】
1位/寺西春翔(拳志館下黒瀬) 2位/岡田和朗(創心
館世羅)



【型 幼児 (男女混合)】
1位/丸谷晃永(拳志館郷原) 2位/佐藤礼維(拳志
館郷原)



【組手 一般男子有段 (51 歳以上)】
1位/山内正克(愛媛本部)



【組手 一般男子有段 (36～50 歳)】
1位/福田淳二(体誠塾五月田) 2位/西野龍一(吹
田青少年) 3位/高杉晃生(体誠塾岸和田) 吉田竜也(大
阪教育大学)



【組手 小学生5年生 (男子)】 1位/岩崎琉希(富永
道場) 2位/寺尾勇亮(拳志館 広) 3位/北村謙成(拳
志館矢野) 本多光翔(藤田道場) 5位/東久世通史(富
永道場) 大峠賢悟(富永道場) 田淵瑛士(芦屋空手道協会)
植田虎樹(泉南支部)



【組手 小学生4年生 (男子)】 1位/福原要汰(拳志
館八本松) 2位/小西風(創心館世羅) 3位/平田大
悟(富永道場) 端山義朗(芦屋空手道協会) 5位/宮
本見成(拳志館八本松) 河口響希(拳志館からす小島)
松本歩睦(拳心館) 木坂悠仁(富永道場)



【組手 小学生3年生 (男子)】 1位/金子右京(保土ヶ
谷) 2位/宮本亮真(拳志館八本松) 3位/坂本滉武(拳
志館昭和) 吉本充希(拳志館ケゴヤ) 5位/斉藤樹紀(吹
田青少年) 寺尾悟亮(拳志館 広) 栗原蒼陽(拳志館大野)
信原大一(拳志館海田)



【型 小学生6級～5級 (男女混合)】
1位/有田乃菜(拳志館昭和) 2位/岡田真央(拳志
館昭和) 3位/古屋美優(拳志館昭和) 北川流輝(常
明館) 5位/木場新(拳志館熊野) 中谷安那(拳志館昭和)
坂本滉武(拳志館昭和) 柳迫ともか(拳志館昭和)



【型 小学生7級以下 (男女混合) 敢闘賞】
柳生紗花(創心館世羅) 矢口瑠奈(拳志館下黒瀬) 藤
田蛭(拳志館横路) 竹田芳生(拳志館熊野) 中垣内湊(拳
志館東熊野) 真田英汰(創心館世羅) 上川修平(創心
館世羅) 清原美乃莉(拳志館夢ヶ丘)



【型 小学生7級以下 (男女混合)】
1位/相川あん(拳志館大野) 2位/佐々木梨(拳志
館熊野) 3位/小林功宜(拳志館熊野) 院去六樹(拳志
館昭和) 5位/長渡美桜(拳志館夢ヶ丘) 今井彩貴(拳
志館ケゴヤ) 坂本瑞季(拳志館昭和) 岡田ひかる(拳志
館 広)



【組手 小学生3・4年生 (女子)】
1位/藤原樹(常明館) 2位/柳生紗花(創心館世羅)
3位/中川真結(藤田道場) 中谷安那(拳志館昭和)
5位/尾濱杏奈(拳志館昭和) 堀川葵(拳志館ケゴヤ)
尾川悠(拳志館熊野) 田丸佳菜(拳志館大野)



【組手 小学生1・2年生 (女子)】
1位/辻奈央(拳志館八本松) 2位/北村ひかり(藤
田道場) 3位/北村ひより(藤田道場) 宮本琴葉(拳
志館八本松) 5位/方尹欣(中国上海) 木下真歩(拳志
館昭和) 中垣内湊(拳志館東熊野) 白井花穂(拳志館仁保)



【組手 小学生6年生 (男子)】
1位/浅井諒央(創心館世羅) 2位/高橋一太(富永
道場) 3位/宮本泰志(拳志館八本松) 木坂健志(富
永道場) 5位/田淵瑞人(芦屋空手道協会) 小谷昊輝(拳
志館熊野) 西野陽海(吹田青少年) 池田成佑(創心館世羅)



【型 小学生2級～1級 (男女混合)】
1位/佐々木なずな(拳志館昭和) 2位/戸原覇斗(拳
志館昭和) 3位/中谷優吾(拳志館昭和) 北村ひなた
(藤田道場) 5位/宇根大翔(拳志館夢ヶ丘) 川光庵(拳
志館吉川) 小谷昊輝(拳志館熊野) 藤澤岬士(拳志館矢野)



【型 小学生4級～3級 (男女混合)】
1位/尾川悠(拳志館熊野) 2位/三塩姫夢(拳志館熊
野) 3位/菖蒲征磨(拳志館熊野) 小谷晟矢(拳志館熊
野) 5位/院去二実(拳志館昭和) 古本大我(拳志館熊
野) 松浦心音(拳志館熊野) 北村ひかり(藤田道場)



【組手 中学生女子】
1位/本多一華(藤田道場) 2位/小西永遠(創心館
世羅) 3位/黒瀬萌夏(拳志館昭和) 池田愛可(創心
館世羅) 5位/楊 睿怡(中国上海) 福原陽向(拳志館
八本松) 内富桃菜(拳志館 広) 寺西真歩(拳志館下黒瀬)



【組手 中学生男子】
1位/山本大雅(藤田道場) 2位/寺西優太(拳志館
下黒瀬) 3位/山重拓真(拳志館昭和) 安井楽斗(拳
志館昭和) 5位/金本凌治(拳志館熊野) 严 泽龙(中
国上海) 佐々木和統(拳志館熊野) 安達梨登(拳志館
昭和)



【組手 小学生5・6年生 (女子)】 1位/楊 稀雯(中
国上海) 2位/木尾夏萌(鹿兒島大崎) 3位/隈本優羽
奈(鹿兒島大崎) 江崎由空(拳志館八本松) 5位/岡光
美宙(拳志館阿賀) 佐々木なずな(拳志館昭和) 三塩姫
夢(拳志館熊野) 高田なつみ(拳志館夢ヶ丘)



【組手 高校生男子】
1位/清水一沙(拳志館黒瀬) 2位/藤原竜静(拳志館
昭和) 3位/森山皓太(拳志館昭和) 湧川雄斗(拳志館
昭和)



【型 高校生男子】
1位/佐々木和馬(拳志館熊野) 2位/栗原匡吾(拳
志館熊野)



【型 中学生女子】
1位/大越彩郁(拳志館大野) 2位/阪口いろは(藤
田道場) 3位/上川美幸(創心館世羅) 黒瀬萌夏(拳
志館昭和) 5位/芳家梨桜(拳志館昭和) 西口恵生(新
誠館桜井) 佐々木絵梨(拳志館熊野) 高橋美結(新誠
館桜井)



【型 中学生男子】
1位/長渡蒼士郎(拳志館夢ヶ丘) 2位/佐々木和統(拳
志館熊野) 3位/濱下凱慎(拳志館 広) 中谷優成(拳
志館矢野) 5位/尾川遼(拳志館熊野) 江崎里玖(拳志
館八本松) 高橋拳大(拳志館八本松) 高島快斗(新誠館
桜井)



【組手 一般有級男子】
1位/金行重雄(拳志館阿賀) 2位/浜池一嘉(子安
支部) 3位/松下貴(拳志館仁保) 菊浦佑太(大阪教
育大学)



【組手 高校生女子】
1位/近藤李(創心館世羅) 2位/大宮舞凜(総本
道場)



【組手 高校生男子】
1位/清水一沙(拳志館黒瀬) 2位/藤原竜静(拳志館
昭和) 3位/森山皓太(拳志館昭和) 湧川雄斗(拳志館
昭和)



宮島演武会。左から、中村圭登（長男）、中村郁美（母）、野島千佳（祖父）、中村咲友（次女）、中村祐美（長女）

三世代空手道

野島千佳 (81歳)
中村郁美 (53歳)
中村祐美 (30歳)



仕事頑張ってます。祖父であり師である野島館長（右）と

親子三世代で空手道に励むご家族を取り上げます。第1回目は、拳志館館長・野島千佳先生の孫に当たる中村祐美さんから原稿をいただきました。

拳志館夢ヶ丘 中村祐美 (自衛官)

私は空手を始めて24年になります。「なぜ、空手を始めたの?」とよく聞かれますが、正直覚えていません。自分から「空手をした」と言った記憶はなく、祖父の道場へ母、弟と一緒に見学に行くようになり、何となく始めたのだと思います。

小学生時代、とにかく「怖い・痛い」といった気持ちが高く、型はまだしも組手は、メンホーを付けただけで泣いていました。祖父の練習は道場以外でも、家の中でブルーシートに私の足をかたどり、エンドレスの練習でした。あの頃は、「やらされて

いる」といった気持ちしかなく、何も楽しくありませんでした。中学生時代、私は陸上部に所属し、空手は二の次状態でしたが、高校入学後、空手部に入学し、それまでの練習に感謝する日々が多くなりました。それは、今まで嫌々やってきた基本が、自分の中に自然と身についていたことにより高校での練習、試合はこれまであった「嫌な気持ち」より「楽しい気持ち」が芽生え、型、組手でインターハイや全国選抜出場等、とても充実した競技生活を送ることができました。

現在、陸上自衛隊に入隊して11年になります。仕事と空手の両立ができ、全自衛隊大会では個人形で連覇をすることもできました。子供の時は、誰しもが嫌な基本ですが、その時はその重要性が分かりません。でも、自分の心も体も成長していくことでその重要性が分かり、感謝しきれない気持ちが生まれてきました。

確かに、私は身近に祖父と母が指導者でいて練習環境が良かったのかもしれませんが、それを次に受け継ぐのは私の番だと思っています。基本の大切さと、空手の楽しさをあわせて教えていき、道場の発展に繋がってほしいと思います。



【型 一般有段男子 (19~35歳)】
1位/齊藤辰紀(洗心館) 2位/脊古雄介(拳志館昭和)
3位/森竜平(体誠塾模原) 上阪達也(新誠館桜井)

【型 一般有級 (男女混合)】
1位/佐々木和頼(拳志館熊野) 2位/久保田涉(拳志館仁保) 3位/上田実穂(拳志館阿賀) 松下貴(拳志館昭和)

【型 高校生女子】
1位/西岡奈乃子(拳志館 広) 2位/大宮舞凜(総本部道場) 3位/新宮未月(拳志館ケゴヤ) 芳家帆美(拳志館昭和)



【型 一般有段・男女混合 (51歳以上)】
1位/十島清徳(拳志館矢野) 2位/羽部千敏(拳志館益田) 3位/得能裕(千里山) 當摩水晶(吹田青少年)



【型 一般有段・男女混合 (36~50歳)】
1位/岸本延幸(芦屋空手道協会) 2位/鍛冶光浩(芦屋空手道協会) 3位/高杉晃生(体誠塾岸和田) 岸菜克巳(拳志館 広) 5位/星野千尋(吹田青少年) 美代取泰成(体誠塾五月田) 福田淳二(体誠塾五月田) 西野龍一(吹田青少年)



【型 一般有段女子 (19~35歳)】1位/宇根萌々子(拳志館夢ヶ丘) 2位/坂本杏南(拳志館昭和) 3位/飯野早紀(大阪教育大学) 中村祐美(拳志館夢ヶ丘)

前夜祭に各支部より70名が参加

大会初日の夜、呉駅前の呉阪急ホテルにて各支部代表による前夜祭が行われ、約70名が出席した。

会では今大会の成功を祈願するとともに、各支部ごと全員が壇上に上がってあいさつ。一人ひとりが糸洲会の未来についてどうあるべきや、生涯武道を推進するにあたっての自分の決意を新たに



愛媛県支部

大阪・創心館

広島県支部

熊本県支部・鹿児島県支部

大阪・吹田空手道

芦屋空手道協会

関東地区協議会

大阪・藤田道場

東北・北海道地区協議会

守礼堂 駐車場完備
東京支店
〒164-0001
東京都中野区中野 2-23-4 グリーンフォレスト1F
TEL (03)-5342-3051
FAX (03)-5342-3052
E-mail shureido@viola.ocn.ne.jp
TEL 0120-957-941
FAX 0120-957-942

守礼堂 KARATE DO
極まる形、極まる技
ズボンを立てた新しい形の縫製にした為、足の動きがより自由になり、変幻自在の動きに対応できる。
NW-3、黒
いつも快適な道衣
1. 優しく、柔らかいコットンの肌触り
2. 汗を素早く吸い、同時に拡散する
3. 海軍藍、シワになりにくく、早く乾く
4. 軽いウレタン、縫みか少ない
NW-1~3、黒
空手衣の美しさを追求
上層背中の開取り用布を特殊縫製する事により、発汗時の空手衣のまとわりつきを解消し、空手衣の形をきれいに保つ。
NW-3、黒
450gの軽さで技の高速化
(総丈) オリジナル生地4号半(175cm)のズボンで、450gの軽さを誇る。
黒

守礼堂 本社
〒900-0012 沖縄県那覇市泊 1-1-6
TEL (098)-861-5621 FAX (098)-861-5525
フリーダイヤル TEL 0120-612341 FAX 0120-612342
E-mail shureido@orange.ocn.ne.jp

関西 守礼堂
〒538-0044 大阪府大阪市東淀川区東出東3丁目21-34
TEL (06)-6963-8864 FAX (06)-6963-8863

守礼堂 九州
〒830-0048 鹿児島県鹿児島市西田 2-1-18
TEL・FAX (099)-831-6920
E-mail shureido@sur.bbq.jp

URL www.karatedo.co.jp/shureido

守礼堂 KARATE DO
守礼堂
守礼堂

世界中の空手道

～外国人修行者から見た日本の文化～

宮暮真秀 (Matthew Cook)
松風館・創心館会員 アメリカ



波打ち際で稽古する Matt

Greetings, Itosu-kai members. We are in the middle of an unprecedentedly hot summer, here in Richmond, Virginia, and hope that your struggle through the summer heat has not been as bad.

Next year, the summer Olympics will come to Japan, and it will be a great opportunity to share Japan's unique culture with the rest of the world. Japanese culture is of great interest to outsiders, for its beauty, and the fact that this culture is rooted in a deep history. It's great that karate will be shared with the world as a sport, but as a foreigner, I have another perspective of how we share our art.

South Korea and the leaders of taekwondo have worked very hard over the past 50 to 60 years to promote its popularity around the world, and this has been very successful. If you come to North America you'll find martial arts school in almost every shopping center, and the large majority of them are taekwondo schools. You'll find very few karate schools, by comparison. That being said, it would be almost impossible to find someone who didn't know the word "karate".

A problem, which I believe we have, is that most people don't know the difference between taekwondo and karate-do. Many may be able to say that they are from different countries, but most people wouldn't be able to correctly identify which country each is from. As karateka, part of our mission should be to educate the world of what the differences are, and what makes karate-do a unique part of Japanese history.

Some quick history: taekwondo was not officially established and named until 1957. South Korea's leaders sent taekwondo "missionaries" around the world for the next decades to open schools and spread the popularity of taekwondo. In 1972, they established the World Taekwondo Federation to oversee taekwondo as a sport, and at this time they began their push to be recognized as an Olympic sport. From 1972 to present day, taekwondo as an art has almost completely diminished, being replaced as a sport. When it is not practiced as a sport it is mostly practiced as a demonstration art, involving great feats of gymnastics, kicking rapidly, breaking boards, and flying through the air as acrobats.

While this transformation of taekwondo has been successful in the promotion and name-recognition of taekwondo, it has come at the cost of the traditional aspects of the art. If karate-do made the same push to become a more exciting sport, and sacrificed the tradition and history, this would be a great tragedy for Japanese culture.

Most people recognize Japan as a country that is rooted in tradition, and methodical in its attention to detail in all aspects of life. Karateka from all around the world make pilgrimages to Okinawa, to feel the experience of traditional karate-do. Most are not looking for techniques to improve their chances in winning karate sport matches. They are looking to experience tradition and culture.

I believe that we have a unique opportunity to share karate-do, with the world, in a way that taekwondo's founders did not do. We can still promote karate-do as the holistic art that allows us to improve our lives by shaping our focus, determination, and perseverance through studying perfection of traditional techniques, handed down to us from sensei to sensei. The Olympics are a great chance for us to share with the world just how special karate-do is, and to honor those who curated this art's history, and passed on this knowledge, generation to generation.



入口に五輪マーク



宿題手伝います

バーズデーパーティ開催

こんにちは、糸洲会の皆様。ここバージニア州リッチモンドでは空前の暑さの夏を迎えています、日本での暑さがこほどひどくないことを願っています。

来年日本ではオリンピックを迎えますが、それは日本のユニークな文化を世界の人々と共有する絶好の機会となります。日本の文化は、美しく深い歴史に根ざして、外界の人々の大きな関心の的となっています。空手がスポーツとして世界の人々に受け入れられることは素晴らしいことですが、私は、外国人として、空手という武道に対して違った視点を持っています。

韓国のテコンドー指導者たちは、この50年から60年の間テコンドーを世界に広めようと熱心に活動し、それは成功しています。もし北アメリカを訪れたら、ほとんどのショッピングセンターに武道スクールがあり、それらのほとんどがテコンドースクールであることに気づくでしょう。それに対して空手スクールはほとんど見当たりません。しかしそうであっても、「空手」という言葉を知らない人はほとんどいないでしょう。

問題は、ほとんどの人がテコンドーと空手道の違いを知らないことだと、私は考えています。多くの人は、この二つが違う国から伝わってきたことは分かるかもしれませんが、どちらがどちらの国から伝わってきたかは分からないでしょう。空手家の使命は、この違いを世界に知らせることであり、空手道が日本の歴史特有のものであることを知らせることだと考えます。

歴史を簡単に見てみましょう。テコンドーは1957年になって初めて正式に確立され名前が付けられた。韓国の指導者たちはその後数十年に渡ってテコンドー「使節」を世界中に送り、テコンドースクールを開き、テコンドーを浸透させていきました。1972年、彼らは「世界テコンドー連盟」を設立し、テコンドーがスポーツとして確立できるよう目を配り、テコンドーがオリンピック競技として認められるよう働きかけを始めました。1972年から現在に至る過程で、武道としてのテコンドーは完全に消滅し、単なるスポーツになりました。

このテコンドー改革によって、テコンドーの人気を広め名前の認知度を上げることになった一方で、テコンドーは武道としての伝統的側面を犠牲にしまいました。もし同じように、空手道を、伝統や歴史を投げ捨ててもっと盛り上がるスポーツに変えていこうとするならば、日本文化にとって悲劇であろうと考えます。

日本は伝統に根ざし、生活の隅々において規律と秩序を重んじている国であると人々は認めています。世界の空手家は、空手道の伝統を体で体験するために、沖縄に「巡礼の旅」をします。ほとんどの人は、空手競技でもっと勝てるように技術を磨くために沖縄を訪れるのではありません。伝統と文化を体で感じるため訪れるのです。

私たちは今、テコンドー創始者たちが行った方法とは違うやり方で、空手道を世界に広める絶好の機会を迎えています。先生から先生へと受け継がれた伝統と技を極めようと努力し、集中・決断・忍耐などを体得し自らの生き方を向上させるために、全てを包括する武道として空手道を広めていけるだろうと考えています。オリンピックは、空手道がいかに特別のものであるか世界に知ってもらえる絶好の機会であり、この武道の歴史を担いその知識を次世代へと引き継ぐ人々の榮譽を称える機会でもあるのです。

(訳 富樫 明、内田 千秋)

日本空手道連合会第16回中国・四国大会

令和元年6月23日(日) 広島県府中市立総合体育館

令和元年6月23日(日) 広島県府中市立総合体育館において日本空手道連合会「第16回中国・四国地区空手道選手権大会」が開催された。

昨年の参加人数(延べ638名)を1割程度も上回る、延べ702名もの選手が各会場から出場時し、全国大会への切符を賭け熱戦を繰り広げた。



大会会場



開会式



役員・審判員の先生方



小学1年男子形1位・小林功宜(熊野支部)
「うれしかったです。」



小学1年女子組手1位・宮本琴葉(八本松支部)
「うれしかったです。」



小学5年女子形1位・佐々木なずな(昭和支部)
「先生方に感謝したいです。」



小学1年女子形1位・佐々木茉梨(熊野支部)
「全国大会でも優勝したいです。」



中学女子形1位・上川美幸(世羅支部)
「練習成果が出てよかったです。」



小学3年男子組手1位・坂本凜武(昭和支部)
「今まで準優勝だったけど、優勝できてうれしかったです。」



小学4年男子形1位・尾川悠(熊野支部)
「ここで油断せず、次も頑張りたいです。」



中学2年女子組手1位・尾加風香(昭和支部)
「怪我をしていたけど、2年連続優勝することが出来てうれしかったです。」



中学3年男子組手1位・寺西優太(下黒瀬支部)
「練習した成果が出て良かったです。」



小学6年男子形1位・栗原怜之(熊野支部)
「6連覇することが出来て良かったです。」



小学6年男子組手1位・浅井諒央(世羅支部)
「しっかり練習して優勝できたので、とてもうれしかったです。」



成年男子形1位・脊古雄介(昭和支部)
「全国大会では、もっとしっかり演武できる様に頑張ります。」



壮年女子形1位・杉原波江(昭和支部)
「数十年ぶりに選手として出場しました。緊張感を思い出して楽しかったです。」



壮年男子形2部・3部1位・十島清徳(矢野支部)
「全国大会まで気持ちを切らさず頑張ります。」



中学1年女子組手1位・小西永徳(世羅支部)
「練習した甲斐があったので、よかったです。全国大会でも頑張ります。」

令和元年8月31日(土) 伊敷ニュータウンかに座公園



気迫の演武

大観衆の前で気魄の演武

令和元年8月31日(土)、鹿児島市内で最も人気のある恒例の「伊敷ニュータウン夏まつり」がありました。出店や大抽選会、中国長沙友好花火大会もあり、数万人の人出でにぎわいました。特設ステージでは吹奏楽部の演奏や一般のダンスなどがあり、空手も出演し糸洲会伊敷台の団員15名が気迫のこもった基本・形・約束組手を披露しました。観客は「かっこいい、迫力がある、感動した」と話していました。(九州地区会報委員 井出俊郎)

第三回馬陵杯大会

令和元年7月21日(日) 福島県相馬市

団体戦優勝は相馬東



団体戦優勝旗は相馬東に

相馬、相馬東、南相馬、福島中央、仙台高森、新地荒道場の各支部がしのぎを削り、覇権を争いました。普段は一緒に練習することも多い仲間ですが、この時ばかりはライバル心むき出しでぶつかり合います。試合後はまたいつものように仲良くなり、支部、年齢、関係なく交流を深め、次の大会

2019糸洲会関西地区少年少女大会

令和元年8月12日(月・祝) 東和薬品ラクトブドーム

礼を重んじ美しい試合を目標に

今大会は例年秋に行われている大会ですが、連合会全国大会と重なり、標記の日程になってしまい、お盆に繋がる連休で、参加選手が若干少なくなっていました。昨年同様、見やすい大会会場づくりを目指し、コート付近に選手や係員を入れないようにしました(会場風景)。どの試合も、よく見えて良かったです。試合では、練習の成果を遺憾なく発揮することはもちろん、美しい試合(礼を相手に合わせてすること。相手を威嚇するような声を出さない。ガッツポーズをしないなど)を目標にしました。選手の方々は、自分の力を十分に発揮し



入賞者の誇らしげな顔



個人組手



大会会場風景



個人型



団体型



選手宣誓・中平怜男選手

では更に成長して臨むことを誓いました。子供たちの技術向上、交流だけではなく指導者や保護者の交流の場にもなり、非常に重要な行事になっています。

今後も継続し、子供の成長を実感してもらうことで、空手の普及にも繋がっていきたく考えています。(報告者 荒道場 相馬支部長・菅野仁)



白熱の組手



緊張の型試合



集合写真

- 【型競技】
- ◎幼年(男女) 1位・石戸谷海音(南相馬) 2位・只野梨花(新地) 3位・大久保凛翔(新地)
 - ◎小学生(1年男子) 1位・佐藤紫音(相馬東) 2位・立野優志(南相馬) 3位・関根蒼空虎(新地)
 - ◎小学生(1・2年女子) 1位・佐々木心花(新地) 2位・菊地莉羽(相馬) 3位・目黒利明菜(新地)
 - ◎小学生(2年男子) 1位・米澤藍希(相馬東) 2位・菅野晴空(南相馬) 3位・高橋航(相馬) 川崎蓮武(新地)
 - ◎小学生(3・4年女子) 1位・目黒稟栞(新地) 2位・島優実(新地) 3位・大和崎麗愛(相馬東) 大和崎麗夢(相馬東)
 - ◎小学生(3・4年男子) 1位・佐藤晴陽(南相馬) 2位・橋本通河(福島中央) 3位・金野朔(相馬東) 佐野純清(南相馬)
 - ◎小学生(5・6年女子) 1位・米澤舞(相馬東) 2位・本田桜(福島中央) 3位・松浦蒼依(相馬) 新開希咲(相馬)
 - ◎小学生(5・6年男子) 1位・中村隼人(南相馬) 2位・櫻井龍斗(福島中央) 3位・服部聖(相馬) 佐藤兼紳(南相馬) ◎中学生(1・2年男子) 1位・堀江武琉(新地) 2位・荒元騎(新地) ◎中学生(1年女子) 1位・米澤奈那(相馬東) 2位・佐藤凪(相馬東) ◎小学生団体戦 1位・相馬東チーム(米澤藍希・佐藤竜斗・米澤舞) 2位・南相馬Aチーム(菅野晴空・佐藤晴陽・中村隼人) 3位・福島Bチーム(管藤琥珀・松本智也・本田桜) 相馬チーム(服部聖・渡辺凜時・服部聖)
- 【組手競技】
- ◎幼児の部(男女混合) 1位・末永航太(創心館豊能) 2位・坂口翔太(富永道場) 3位・坂口翔太(富永道場) 山原光晴(富永道場)
 - ◎小学無級・9級の部(男女混合) 1位・藤永麻由(創心館豊能) 2位・小関龍貴(南大江) 3位・浅田莉心(南大江) 河内山永進(富永道場) 5位・木村晴生(南大江) 藤永喜大(創心館豊能) 中島啓太(南大江) 野村咲平(藤永道場)
 - ◎小学8〜7級の部(男女混合) 1位・尾野承太郎(藤永道場) 2位・岡井誠人(奈良) 3位・濱吉龍(富永道場) 西野晴紀(明峰支部)
 - ◎小学6〜5級の部(男女混合) 1位・山口晃士朗(道夢館) 2位・山本輝(洗心館) 3位・林裕盛(富永道場) 林汐穂(富永道場) 5位・宮崎優星(明峰支部) 中平明貴斗(体誠塾本部) 樋口悠大(富永道場) 久保田純也(喜連西)
 - ◎小学4〜3級の部(男女混合) 1位・斉藤樹紀(吹田青少年) 2位・坪井美々(吹田青少年) 3位・中司唯杏(千里山) 布引柊史(吹田青少年) 5位・中村宏輝(若屋宮川) 山中浩士郎(吹田青少年) 北村ひかり(みなと支部) 山口泉(新誠館)
 - ◎小学2〜1級の部(男女混合) 1位・山口夢叶(道夢館) 2位・濱野いろは(吹田青少年) 3位・高橋花穂(富永道場) 杉村凌(吹田青少年) 5位・富永愛唯(富永道場) 榎田海心(富永道場) 大内田碧(吹田青少年) 大内田翠(吹田青少年)
 - ◎中学有級の部(男女混合) 1位・西口恵生(新誠館) 2位・中平翔貴(体誠塾本部)
 - ◎小学有級の部(男女混合) 1位・北村七海(吹田青少年) 2位・西田舞花(朝倉) 3位・荒西夢羽(洗心館) 井上明日香(玉島青少年)
 - ◎中学男子有級の部 1位・多田喜予史(喜連西) 2位・高島快斗(新誠館)
 - ◎中学女子有級の部 1位・高橋美結(新誠館) 2位・田中優未(新誠館)
 - ◎高校生有級の部(男女混合) 1位・瀧瀬統亜(創心館豊能)
 - ◎団体戦(無級〜7級の部) 1位・明峰支部
 - ◎団体戦(6級〜3級の部) 1位・吹田青少年B 2位・吹田青少年A
 - ◎団体戦(2級〜有級の部) 1位・吹田青少年A

- ◎幼児の部(男女) 1位・末永航太(創心館豊能) 2位・坂口翔太(富永道場) 3位・坂口翔太(富永道場) 山原光晴(富永道場)
- ◎小学無級・9級の部(男女混合) 1位・藤永麻由(創心館豊能) 2位・小関龍貴(南大江) 3位・浅田莉心(南大江) 河内山永進(富永道場) 5位・木村晴生(南大江) 藤永喜大(創心館豊能) 中島啓太(南大江) 野村咲平(藤永道場)
- ◎小学8〜7級の部(男女混合) 1位・尾野承太郎(藤永道場) 2位・岡井誠人(奈良) 3位・濱吉龍(富永道場) 西野晴紀(明峰支部)
- ◎小学6〜5級の部(男女混合) 1位・山口晃士朗(道夢館) 2位・山本輝(洗心館) 3位・林裕盛(富永道場) 林汐穂(富永道場) 5位・宮崎優星(明峰支部) 中平明貴斗(体誠塾本部) 樋口悠大(富永道場) 久保田純也(喜連西)
- ◎小学4〜3級の部(男女混合) 1位・斉藤樹紀(吹田青少年) 2位・坪井美々(吹田青少年) 3位・中司唯杏(千里山) 布引柊史(吹田青少年) 5位・中村宏輝(若屋宮川) 山中浩士郎(吹田青少年) 北村ひかり(みなと支部) 山口泉(新誠館)
- ◎小学2〜1級の部(男女混合) 1位・山口夢叶(道夢館) 2位・濱野いろは(吹田青少年) 3位・高橋花穂(富永道場) 杉村凌(吹田青少年) 5位・富永愛唯(富永道場) 榎田海心(富永道場) 大内田碧(吹田青少年) 大内田翠(吹田青少年)
- ◎中学有級の部(男女混合) 1位・西口恵生(新誠館) 2位・中平翔貴(体誠塾本部)
- ◎小学有級の部(男女混合) 1位・北村七海(吹田青少年) 2位・西田舞花(朝倉) 3位・荒西夢羽(洗心館) 井上明日香(玉島青少年)
- ◎中学男子有級の部 1位・多田喜予史(喜連西) 2位・高島快斗(新誠館)
- ◎中学女子有級の部 1位・高橋美結(新誠館) 2位・田中優未(新誠館)
- ◎高校生有級の部(男女混合) 1位・瀧瀬統亜(創心館豊能)
- ◎団体戦(無級〜7級の部) 1位・明峰支部
- ◎団体戦(6級〜3級の部) 1位・吹田青少年B 2位・吹田青少年A
- ◎団体戦(2級〜有級の部) 1位・吹田青少年A

2019年度全国高校総合体育大会（空手道）

令和元年8月9～11日 名護市21世紀の森体育館

団体組手で8強(瀬戸口彪雅・瀬戸口海心)

2019年度全国高校総合体育大会（空手道）は8月9～11日沖縄県名護市21世紀の森



左から瀬戸口海心選手、瀬戸口彪雅選手

体育館で行われ、糸洲会伊敷台空手道スポーツ少年団出身の瀬戸口彪雅、瀬戸口海心が鹿児島城西高校の団体戦のメンバーとして出場、順調に勝ち上がったが準決勝で強豪・京都外大西高校に敗れ5位となった。

二人はともに伊敷台スポーツ少年団の出身で、海心選手が6才、彪雅選手が小学2年で入門した。

彪雅選手は今年春の全国高校選抜大会にも出場、中学時代、糸洲流国際大会で準優勝した経歴を持つ。

海心選手は中学2年で県大会個人優勝今年名門鹿児島城西高校に入学。4月の県大会で3位に入賞、頭角を現し全国高校総体のメンバーに選ばれた。2020年「燃ゆる感動かごしま国体」まであと1年、「絶対頑張ります」と決意を秘めていた。

（九州地区会報委員 井出俊郎）

第54回鹿児島市民体育大会全空連空手道競技

令和元年7月28日（日）鹿児島市郡山体育館

小学女子2年形は高橋優（糸洲会伊敷台）が優勝

されました。

糸洲会の選手は小学2年女子形で高橋優が優勝した。その他の選手も上位入賞し親子で喜びをかみしめていました。

奏が優勝。小学女子団体は決勝戦で反則により惜敗しました。

また8月25日、広島県で開催された糸洲会全国大会では、木尾夏萌が小学5・6年女子組手で準優勝、隈本優羽奈が3位に入り、10月6日（日）、大阪府立体育館で開催される連合会全国大会に向け「優勝を目指しがんばります」と話していました。

（九州地区会報委員 井出俊郎）

【九州ブロックスポーツ少年団大会 結果】

◎組手小学5年女子 2位・隈本優羽奈（糸洲会大崎）

◎組手中学3年女子 1位・國料和奏（糸洲会大崎）

◎組手団体小学女子 2位・隈本優羽奈・草原呼幸・木尾夏萌（糸洲会大崎）

【糸洲会全国大会 結果】

◎小学5・6年女子組手 2位・木尾夏萌／3位・隈本優羽奈（糸洲会大崎）



九州ブロック大会記念撮影



糸洲会全国大会記念撮影

日本空手道連合会第57回関東地区空手道選手権大会

令和元年8月11日（日）東京武道館

猛暑の中、大奮闘！

毎年「山の日」の8月11日に開催されている関東地区大会。今年は長期お盆休みと重なり、参加選手が大幅に減少することになりました。それでも、参加した糸洲会選手、形65名、組手66名は元気いっぱい、夏の猛暑の中奮闘しました。



小学6年男子形、糸洲会二十八歩の演武

（九州地区会報委員 井出俊郎）
【糸洲会選手の上位入賞者】
◎形小学2年女子 1位・高橋優（糸洲会伊敷台）、4位・平峰莉乃愛（糸洲会伊敷台）



糸洲会鴨池

◎形小学2年男子 4位・西翔生（糸洲会鴨池）、優秀賞・新村潤（糸洲会鴨池）
◎形小学4年男子 準優勝・町田天佑（糸洲会鴨池）
◎形小学5年男子 3位・上ノ原由築（糸洲会鴨池）
◎組手小学2年女子 4位・平峰莉乃愛（糸洲会伊敷台）
◎組手小学3・4年女子 4位・新原英麻（糸洲会鴨池）



糸洲会伊敷台

第39回九州ブロックスポーツ少年団空手道交流大会

令和元年8月18日（日）宮崎県立ツワブキ武道館

中学女子組手で國料和奏が優勝 小学女子団体組手は準優勝

第39回九州ブロックスポーツ少年団空手道交流大会は8月18日、宮崎県立ツワブキ武道館で行われ、九州各県代表選手小学5年生から中学3年生までが出場し、熱戦が展開されました。

糸洲会の選手は中学3年女子組手で國料和

【糸洲会選手の戦績】

◎小学3年男子形 3位・岩淵海

◎小学4年女子形 1位・村川仁菜／2位・大宮凜音／5位・川上葵

◎小学4年男子形 1位・鈴木木奥

◎小学5年女子形 3位・小幡祐奈・市川莉菜

◎小学5年男子形 5位・河村倫之介

◎小学6年女子形 2位・大矢真央／3位・工藤仁奈／5位・服部夏音・茜ヶ久保和・種村清夏

◎小学6年男子形 2位・山口太慈／3位・井上翔斗／5位・長瀬大冴人

◎中学女子形 3位・内山幸乃・木村涼

◎中学男子形 3位・小龍一虎

◎高校女子形 3位・大宮舞凜

◎一般男子形 3位・高橋潮己

◎壮年一部女子形 1位・長瀬裕季子
◎壮年二部男子形 2位・秦達人・3位・青柳信行
◎壮年三部男子形 2位・浅川信二／3位・福元洋三
◎小学2年男子組手 5位・仁藤悠人
◎小学3年女子組手 3位・小幡このか
◎小学3年男子組手 2位・金子石京／5位・岩淵海
◎小学4年女子組手 5位・村川仁菜
◎小学4年男子組手 5位・中村亮佑・奈良之穂
◎小学5年女子組手 5位・小幡祐奈
◎小学6年女子組手 1位・野崎奏・5位・種村清夏
◎中学一年女子組手 5位・熊田杏珠・内山幸乃
◎中学三年女子組手 3位・木村涼
◎中学三年男子組手 2位・村川權人／5位・本田悠人・高橋凜玖
◎高校女子組手 5位・古怒田桜子
◎壮年一部男子 3位・安川徳昭・長瀬純一／5位・仁藤拓也・羽染賢一
◎壮年二部男子 2位・秦達人



小学4年女子形、決勝戦は糸洲会選手同士



壮年三部男子形 師範や支部長クラスも奮って参加



一般男子形 スピード・パワーとも僅差の戦い

今、注目の人「山本匡悟」選手

きよひつぐ

悔しい思いが自分を成長させる！
そして、いつも感謝の気持ちを抱き、
真摯な姿勢で空手と向き合いたい。



山本匡悟（やまもときょうご）
藤田道場 帝京大学2年生
プロフィール／1999年（平成11年）9月26日生れ。
大阪市平野区出身。
◆最近の主な戦績
平成30年度 東日本大学選手権大会 男子団体組手優勝
平成30年度 関東大学選手権大会 男子団体組手優勝
平成30年度 全日本大学選手権大会 男子団体組手2位
平成29年度 全国高等学校選抜大会 男子団体組手優勝・
個人組手5位
平成28年度 近畿高等学校大会 男子団体組手優勝
平成26年度 全国中学生大会 男子団体組手優勝
平成25年度 Jr・Cd アジア大会 個人組手優勝
平成25年度 Jr・Cd 東アジア大会 個人組手優勝
平成25年度 糸洲会全国大会 個人組手優勝



大会の団体戦では大将戦で自分が出て負け
てしまいました。

これまでも上手いかなない時や負けがたく
さんあり、高校最後の大会での悔しい思いか
ら大学で絶対に日本一を取るんだという強い
気持ちを持って帝京大学に進学しました。



悔しい思いをしたからこそ強くなるために
努力できるのだと僕は思います。そして、悔
しい思いをしたから今の自分がいます。

これからもたくさん負けたりすると思いま
すが、その度にこれまで支えてくれた人たち
のことを思い出して頑張っていきます。

◆いつも感謝の気持ちを胸に

小さな頃から指導していただいた藤田栄三
先生、藤田典正先生、井上直人先生にはさま
ざまなアドバイスを経験させていただきま
した。

厳しい練習ばかりでしたが、仲間たちと楽
しく空手を好きになれる環境を作っていただ
いたことにとて感謝しています。今でも電
話などで連絡をとったり、試合の動画を見て
いただいていたアドバイスを激励の言葉をかけ
ていただきます。

◆悔しい思いが成長の糧

いつも勝っていた相手に勝てなくなった
り、組手をしていても思うようにいかず投げ
出しそうな時もなくありません。

それでも続けてこられたのは家族の応援や
いつも指導していただいていた先生方からの
アドバイスがあったからです。ひとりでは
絶対に今まで空手を続けてこれませんでした。

◆さらなる飛躍のために

空手が好きで中学でもっと強くなりたい
と思い、浪速中学校に入学しました。それか
ら高校卒業まで6年間毎日ナショナルチーム
のコーチでもある今井監督の下で空手に取り
組んできました。中学・高校共に日本一を経
験し、国際大会で結果を残すこともできま
した。

高校3年生の5月に大きな怪我をしてしま
い思うように練習ができず、高校最後の全国

関西地区協議会 強化練習会

令和元年7月20日（土）門真市総合体育館サブアリーナ

7月20日（土）13時より関西地区協議会の
選手、審判員強化練習会が行われました。
当初は秋に関西地区大会がおこなわれる予
定でしたが、8月12日に変更されましたので、
この日になりました。

小学生から一般まで約80名の選手が参加し
て、関西大会、全国大会に向けての組手、型
の強化練習会でした。

岡田新一先生の開会宣言ではじまり、土川

先生のご挨拶、各委員の紹介がありました。
今回は組手と型両方の講習があり、組手と
型両方の受講者は、先に組手を受講し、後半
に型を受講することになりました。
まずは加藤昭二先生の準備運動（トレーニ
ングを含む）に始まりました。
型は八島和雄先生を主任講師として、ピン
アン二段、ピンアン五段、バツサイ大、セイ
エンチンの型が行われました。
正確に鋭く動くなど、型の持っている特徴
をつかみながら、先生方の熱心な指導のもと、
選手たちも熱心に取り組んでいました。

組手は加藤先生を主任講師として、二人組
になったの蹴りや打ち込みなどを中心に行い
ました。他の道場生とも仲良く真剣に取り組
んでいました。

後半は審判員講習も兼ねて、試合形式で行
いました。試合を止めて審判員への指導もあ
り、選手も審判員も緊張感があり、とても実
りある練習会になりました。



約80名の小学生から一般までの選手が参加



型の講習



組手の講習



参加者たち



糸洲の型を学ぶ

関西地区 指導員講習会および審査会

令和元年7月27日（土）吹田市立武道館

令和元年7月27日（土）午後1時～5時半、
吹田市立武道館「洗心館」にて糸洲会指導員
講習会および審査会が行われました。

今年度より、日本空手道糸洲会技術委員会
の新規事業として各地区協議会に委託され、
実施されることとなりました。

講師は、中壽賀弘二先生、濱田庄蔵先生、
八島和雄先生、得能裕先生の4名です。中壽
賀先生は、広島から来て下さいました。

今回、関西地区での講習会参加者は30代、
60代まで9名、そのうち8名が受審されまし
た。

目的は4つの指定形と糸洲流の型、両方を
きっちり区別し、それを指導者が理解する為
に行われるそうです。会派の型を大事にし
たい、という思いから作られた指導員制度だそ
うです。

初めての事業とあって、厳粛な雰囲気の中、
午後1時から開会式が行われました。

開会式後、各講師による丁寧な講習会が行
われ、3時過ぎに終了。その後、各自で練習
をした後、3時45分から5時30分まで審査が
行われ、受講者は、真剣に取り組んでおられ
ました。

結果は後日発表ということで、高橋先生の
講評で閉会式が締めくくられました。

今回の参加資格は「糸洲会三段位以上の指
導者で師範免状未取得者」ということでした
が、願わくば、師範免状取得者対象の上級指
導員向けの講習会、審査会の復活も検討して
いただきたいと思います。

（関西地区会報委員 飯森恵）



参加者の集合写真

令和元年9月1日、糸洲会世界大会の次回開催国であるデンマークから指導者五人も参加して関東地区定期合同練習が本部道場にて実施されました。

今回の課題型は松茂良ワンシユ、糸洲口一ハイ三段、二十八歩。

初めて演武したという参加者もいましたが、坂上会長のご指導の下、戸惑いながらもなんとか覚えて帰ろうと必死に練習する姿が見られました。

デンマークからの参加者も長旅の疲れも見せず、四時間にもおよび練習に汗を流しました。



左から2人目(坂上会長の右隣)がデンマーク代表のアンダーソン氏



汗で床が濡れるハードな練習

令和元年6月23日(日)、横須賀支部「津浜道場」から30名のメンバーが、横須賀市大会に出場しました。道場生の成長が見られる感動的な試合でした。結果は優勝3名、準優勝5名、3位6名、敢闘賞3名、合計17種目で見事受賞しました!! 日々の子供たちの積極的な練習の成果です。

令和元年6月23日(日) 横須賀支部 みんなでご飯を食べて花火大会をしました。デザートで出てきたスイカ4玉を「正拳突きで割りたい!」との子供たちの要望で急遽、素手のスイカ割りスタート! さすが空手道場生ですね。パンパン割っていました! たくさん笑い声あふれる楽しい時間でした。押忍会の皆さま本当にいつも感謝します。これからも横須賀支部を盛り上げてください!

(横須賀支部 長瀬裕季子)



2019市大会集合



スイカ割りじゃんけん



組手アップ



暑気払い 女子



暑気払い押忍会

関西地区技術委員会審判員講習会(座学によるルール講習会)

令和元年7月20日(土) 門真市立総合体育館

7月20日(土) 10時より門真市立総合体育館・研修室で座学によるルール講習会がおこなわれました。

これは、本年度糸洲会の委託事業として各地区で行う講習会です。



座学によるルール講習会

講習会には審判員と審判員をめざす会員8名が参加しました。内容は、①今年のルール変更点。②副審の旗が分かれた場合の対処の仕方。③組手ルールの試験。で行いました。①では、今年から採用された「負傷の装い」の対処の仕方を中心に学習しました。②では、ルールに則って副審の分かれた旗に対処の仕方をしていくことを確認しました。③では、色々なケースのルールを問題にして、出題し、15分間で回答しました。それを一つ一つ皆で「正解か誤解」を確認しながら学習しました。勘違いしていたり、深く考え過ぎて「誤解」してしまうこともあり、有意義な時間となりました。

(関西地区技術委員会 伊藤収登)

柳澤先生、「師範」祝賀会

令和元年7月21日 荒道場

元号が平成から令和に変わった7月21日、福島荒道場本部の柳澤由美先生が3月24日の



師範称号の報告する柳澤先生と

平成最後の称号審査会において糸洲会の師範に合格した旨を荒道場の皆さんに報告を行いました。

初めに荒司師範から「これからは師範を自覚し、これまで学んだ正しい糸洲流空手を後世に繋ぐ力になって頂きたい」とお話があり、柳澤先生から「糸洲流の歴史や数多くある型を正しく学び、引き継いで行けるよう、これまで以上に努力を惜しまず学んでいきたい」と力強い言葉がありました。

その後、阿部良一先生の発声で指導者の皆と親睦会を行いました。

(糸洲会 荒司)

第43回師範会技術研修会に参加して

令和元年6月1日(土) 2日(日) 横須賀支部

創心館世羅支部 丸田幹夫

令和元年6月1日・2日広島県廿日市大野町大野東中学校武道場で、第43回師範会技術研修会が開催されました。

研修内容は、那覇手の型ソーチン・サンセル・スーパーリンペイでした。

この研修会までに空手道大艦のDVDと本で自分なりに予習して行きました。しかし坂上宗家自ら体を使って型の指導をしてくださることが大変自分のためになり、深い意味を持つと感じました。

宗家から「我々の型はまず首里手の型から入り、それから那覇手の型に入る流れである。那覇手の基本は三戦であり、円を描くような動きと力強さが特徴である」と指導いただいたことで、今回の3つの型を習得し自分の型とするには三戦からやり直さなければならぬと深く思いました。



宗家の説明に熱心に耳を傾ける先生方



宗家によるスーパーリンペイの型の指導



研修会に参加された先生方

日頃、子供たちに「型は踊りじゃないんだよ、もつと力を入れてやりなさい」と指導していますが、宗家の言葉はそのまま自分に返ってきました。私が指導する立場となって、自分自身の鍛錬をどこかに忘れてきたように思います。

この二日間の研修会は、本当に緊張感のある有意義な研修会であり、何より自分自身を見つめ直すきっかけとなりました。

今一度初心に帰り精進し、師範の名に恥じぬよう努力して参りたいと思います。

(横須賀支部 長瀬裕季子)

会員の声

空手と私、

そして全少



吹田青少年 小学5年生

北村七海

私は小学1年生の時から空手をしていて、私も空手を習い始めました。私は生まれつき両耳が聞こえなく、3歳の時に手術をしました。手術をしたので静かな所では少し音を聞き取ることができません。空手の練習中は先生が大きな声で話してくれたり、身振りを使って分かりやすく教えてくれるのでとてもありがたいです。試合の時はいつ自分の名前が呼ばれるのが、係の人の口もとを見ながらドキドキして



出ました。相手の試合に出て、1回戦で負けてしまったけれど、これまでの試合より、一番良い試合でした。どうしてかと言うと、練習中に先生が教えてくれたことを出来たからです。次の試合も頑張りたいです。

私たちは空手大好き！



横須賀支部 小学4年生

大宮 凜音

横須賀支部 高校2年生

大宮 舞凜

私は5才の時に、姉と2人で空手を始めました。私の目標は全少で優勝することです。そのために、毎日基本練習を頑張っています。きつても空手が嫌にならなかったことがありません。なぜならたくさん練習すると、うまくなるのが楽しいからです。

道場の先生がたが、いつも細かく見て教えてくれるので、今年は全少予選で神奈川県3位になり県強化選手になることができました。

大会が終わった後の花火やバーベキューのイベントも、いつも楽しみにしています。これからもたくさん練習をして、目標に向かってがんばります。

(大宮凜音)

いましたが、たくさん試合に出させてもらったおかげで今では慣れてきて、色々な試合で入賞できるようになりました。

2年生の時から大阪府の全少予選にも出てきました。ずっとベスト8でした。低学年の時はベスト8で嬉しかったのですが、4年生の時またベスト8でなぜか嬉しくありません。そして来年こそは全少に出たいと思います。

大阪の同じ学年には強い子がたくさんいるので、その自分も頑張らないという気持ちで練習しました。

そして今年の予選では準優勝して、全少に出場することができました。それからまた全少に向けて練習、思うように形がうず、つらい時もありましたが、教えてくれる先生、優しい先べい、一緒に練習する仲間がいたから頑張ることができました。

初めて出場した全少、先生にいただいたお守りをにぎりしめてパワーを注入、みんな真剣な表情でしたが、私はあまり緊張せず、いつも通りの形をうつことが出来ました。

4回戦目で2対3で負けてしまい、とてもくやしかったです。自分のベストを出し切ることができたと思います。

もって練習して来年も全少に出場し上位を目指したいです。指導して下さい。永野先生、富摩先生、西野先生、先べい、応援してくれた道場のみんなや家族に感謝してこれからも空手を続けていきたいと思えます。



組手は楽しい



横須賀支部 小学4年生

奈良之穂

空手をはじめてやった時は、大会で1回せん負けばかりでつまらなかつたけど、2年生の時初めて組手でベスト8になりました。組手相手によっていろいろなたたかひがあるし、自分の思ったことをためたりできるのでおもしろいと思います。

4年生になって関東大会でもベスト8になったのでうれしかったです。今の目ひょうは市の大会で優勝して、県大会ベスト8になることです。

ぼくはかたがへたなので、いつも1回か2回せん負けで終わります。

かたはきめや指定されたかたをやらなきゃいけないのでとてもむずかしいです。でも先生たちがいっしょけんめい教えてくれるので、今度はかたもうまくなりたいです。

負けたけど……



子安支部 小学3年生

渡邊陽斗

ぼくは、8月11日に連合会関東地区大会に

後まで聞けるようになりました。

今では基本稽古の声かけをしています。

中学生になり、勉強や部活、学校行事と忙しくなり、稽古日と重なって参加できない日もありますが、稽古日には集中して練習し、目標である黒帯が取れる様に頑張ります。

連合会関東大会で悔しい！



子安支部 小学3年生

松本 裕生

今年で2回目の出場となった連合会関東地区大会の組手。大好きな組手の試合に勝つために稽古を一生懸命やってきました。

結果は去年負けた相手に2回戦目で勝つことができたけど、3回戦目で今年優勝した選手と戦い、自分から攻めることを強く意識して先取しましたが、逆転されてしまいとても悔しい思いをしました。

この悔しい思いを忘れずにさらに強くなって、次の大会では喜びに変えられるように一杯頑張りたいと思います。

人から頼られる人間に



拳志館江田島支部 中学1年生

水原 稜弥

僕は、お兄ちゃんについて保育園から空手を始めました。始めの頃は準備体操もお兄ちゃん、お姉ちゃんの様にはできなくて、練習の前から泣いていました。

だんだんと空手の雰囲気にもなれ、友達もできて、準備体操や基本稽古、先生の話も最

山 雅

山 雅

空手衣の



〒574-0046 大阪府大東市赤井1-7-4 (JR学研都市線「住道駅」徒歩3分)
TEL: 072-870-3677 FAX: 072-870-3678
<http://www.yamaga-karategi.com>

鴨池スポーツ少年団 小学6年生

松元 琥希

僕は小学校2年の時に、鴨池小学校の空手道入部少年団に入団しました。

きっかけは、空手の演武を見てかっこよかったことです。大会は好きで出ていますがなかなか勝てません。でも「挨拶、返事、履物をそろえる」礼節が大事だと教えられています。

今年6年生になりキャプテンになりました。後輩から頼られる人間になりたいと思っています。これまで大会で入賞できなかったので小学生最後の年に入賞したいです。

がんばれば結果が出る



拳志館江田島支部 小学5年生

石根 和慈

僕が空手を始めたキッカケはお母さんに勧められ、年長の時に江田島支部に入りました。最初は痛いし、型は覚えられないし、何でこんなことをさせるんだろうと思っていました。

でも5年生になって茶帯の昇級審査を受ける時、茶帯になりたくて、今までに無いぐらい練習しました。

そうしたら、無事に合格できて、頑張ったことが報われたと感じました。今でも難しい型は悩むし、組手は痛いけど、前よりずっと自信が付きました。

空手のおかげで、頑張れば結果は付いてくると分かったので、頑張って黒帯を目指します。



イベントでの演武



連合会北海道・東北地区大会でも大活躍!



全中にも出場



あさみ館長も全国大会優勝!

常明館は、北海道旭川市に隣接した「東神楽町」に道場があり、栗城師範(昭和48年から坂上先生に師事)を筆頭に幼児・小学生・中学生を中心に活動しております。

東神楽の道場は栗城師範の娘さん(酒井あさみ)を館長として設立。

糸洲流を通じて空手道の稽古に日々頑張っている道場です。

設立から6年ですが、北海道内の各種大会での優勝をはじめ、全国大会出場で好成績を残す活躍をしています。

また、地元のお祭り、敬老会などの町内イベントで空手の演武をして地域の貢献もしています。

今後も糸洲会の諸先輩、諸先生方のご指導を賜り頑張っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

道草

その九 「基本」

「愛」が報われるかと言つてそうでもない。努力が実るかと言つて簡単ではない。人生は夢と失望と矛盾にあふれている。「基本」も同じで、「つらくて、きつくて、しんどい」だけ。成功の可能性を秘めているが個人の能力は不平等。だから「黒帯になればそれで上等」。

筆者の「基本」はこの程度の認識であった。

しかし、あるとき(約四十年前)、当時、京都大学ラグビー部の監督をされていた小田伸午先生の講義を聴く機会に恵まれた。

そのとき、ほんまに「目からウロコ」の落ちる音がした。

▼基本とは……

(1) 習わなければ出来ないこと。
不自然な動作や本能と反する動き、これらは反復練習によって身に付けなければならぬ。

(2) 習えば誰でも出来ること。
素質、体格、体力、人種、性別などに関係なく出来ること。

(3) 習ったことを土台にして発展する。
工夫や応用を加えてさらに発展させること。

▼空手の技の一つ一つは効率的である。し

かし、本能的な動作ではないので反復練習によって身に付けなければならない。

また、工夫や応用によって「基本」を発展させることが大切である。「四股立」や「前屈立」のどこに基本の本質が存在するのか、足幅や姿勢など外観的な形だけでなく、身体に働く自然物理的な考察、受動筋や内部感覚、脱力の力、協応性など、様々な観点からの学びに興味を持つことが大切になる。

さらに、武道は「人殺しの術」であり、「生と死を決するもの」である。しかし、先人たちは、厳しい修行を通して恐怖の正体を見極め、これに動じない自己を確立し、人間完成への「道」を発展させてきた。「殺法」を「活法」に発展させたのである。

打算を超えたところに存在する生命力、武道にはいくつもの人生がすっぽり入るほどの「基本」が存在する。

その「道」を尋ね歩むところに「糸洲会」の存在があり仲間の存在意義もある。

▼昨今の日本、報告書の紛失、公文書改ざん、黒塗りの公開文書、はたまた医学部の不正入試など、「真理」が見えない社会になった。大切な「基本」を忘れていくのかも知れない。

さて、令和元年、「空手道の競技化」が進んで半世紀になる。忘れてはならない「基本」があることを忘れてはならない。

審議員 林 開作

坂上宗家夫人 周子様ご逝去

保土ヶ谷支部 教士八段 楠原清誌



令和元年7月5日の朝、坂上宗家よりお電話をいただき、その最初に告げられた言葉が「実はうちの家が今朝、急死したんだよ」と言われたとき、あまりにも突然のことと言葉を失いました。

今年、2月24日に行われた坂上宗家喜寿祝賀会での周子夫人は、元気で優しい笑顔が目に見えました。

その日の午後、市川文一先生と共に自宅へ伺い、坂上宗家より詳しくお話を伺ったところ、死因は「解離性大動脈瘤破裂」にて急死したと聞かされました。

この様な病氣を持つていたとは、ご本人も

宗家も全く気付かずにおられたそうで、アツという間の出来事でもしてあげられなかったそうです。

今の時代あまりにも早い75歳のご逝去で、坂上宗家のお悲しみはいかばかりかとお察しいたします。

周子夫人は滅多に道場には顔を出されませんでした。我々がまだ若いころ本部道場で厳しい稽古で、クタクタに疲れているときに時折、顔を見せて暖かい励ましの言葉をかけていたことが思い返されます。

坂上宗家夫人として、これまでに幾多のご苦勞もあつたと思いますが、宗家の偉業、功績の陰には周子夫人の内助の功があつたからこそと拝察いたします。

葬儀は7月9日、ご自宅で近親者、友人並びに糸洲会代表者数名の出席により、厳かに執り行われました。

安らかなお顔で永眠された周子夫人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

昇段審査合格者一覧

(令和元年5月1日〜9月10日まで)

●少年部
【初段】長谷川鼓泰、岡本一輝、戸村智哉、吉田憲伸、大黒獅侑、小西瑛士、武政寛治、丸山永遠、鈴木愛以守、寒河江尚樹、笹谷柁太、山元大也、松岡朔路、西岡大悟、泉時人、大湊凜、星野雄哉、木寺沙弥、富島涉、石崎玲土、越智誉太、清水泰地、小林恵津子、大城圭伍、坂村友、橋谷陽菜子、木原悠希、赤澤紗菜、遠藤空、新屋光希、君崎友胡、宅見颯人

●一般
【初段】

林幸生、小早川拓夢、乗松江輝、川口詩温、鍛冶遼、中川 蓮、高田蛭一、上田海晴、折笠颯汰、赤川幸輝、坪島拓海、中村優斗、浦宗希早、福島智弥、福島和弥

【二段】
釜井直紀、深草慶汰

【三段】
今井研吾、加藤潤一、井倉里香、永田真由美、寺尾和則

【四段】
福田淳二、藤田真誠、中村祐実

【五段】
北庄司輝一、細川正剛

編集後記



昨年は豪雨災害で全国大会が中止。今年はその不安を踏み越えての大会開催。やつと皆さんの元気な姿に出会うことが出来ました。

懐かしい顔と顔、飛び散る汗、おたがいの活躍を讀み合う姿、握手する手にも力がこもる。

久しぶりの先輩、実力アップの後輩、初参加のニューフェイス。全国大会は出会いと信頼関係から始まる。

初日に開催されたシニアの部には、過去に糸洲会を支えてきたベテランの顔があり、いぶし銀の迫力は見事であった。

また、競技を「厳正」に進めるための「審判員の真摯なご努力」、大会を陰で支えて下さった「スタッフの献身的な姿」、全国大会には多くの「善意」が輝いている。

会報委員会は、大会に参加できなかった全国の皆さんに、この臨場感をいかにして伝えるか……。

今回は、会報委員だけでなく、楓門社(出版社)の小池氏にもご協力いただき、実際に会場取材していただき編集いたしました。

会報委員長 林 開作

お知らせ

2020年「新春号」締切日は2019年11月25日です。
原稿の投稿については、所属長を通じて下記の地区担当の会報委員にお知らせください。
東北地区/中村博之 関東地区/名古屋尚也・大貫光伸 関西地区/綿野光・飯森恵
中国地区/鈴木隆徳・羽部千敏 四国地区/林開作 九州地区/井出俊郎

東京堂 空手 検索 (カタログ/無料発送中)

空手用品総合メーカー 株式会社 東京堂インターナショナル <http://www.tokyodo-in.co.jp>

『空手道型大鑑』 坂上隆祥 著 287ページ A4版 上製函入 ¥12,000 (税込) ネットショップよりご購入で送料無料(送料シヨウブ以外のご注文は送料がかかります)

東京堂インターナショナルの空手衣はまだ進化し続けます! 遂に待望の2大新品 新登場!!

- ◆アスリート3◆ (AT-3-型用) ◆ヒーロー2◆ (HR-2-組手用)
- AT-2の車屋店に満足出来ないお客様へ 従来品に比べ満足度が高いお客様へ 価格例:4号 ¥18,480(税込)
- ◆その他グッズも ネットショップで好評発売中!◆

東京本社 〒890-0016 鹿児島県鹿児島市新照院町1-19 TEL:099-255-8471 FAX:099-255-1547 0120-219-170(九州支社ダイヤル) info@tokyodo-in.co.jp

九州支社 〒890-0016 鹿児島県鹿児島市新照院町1-19 TEL:099-255-8471 FAX:099-255-1547 0120-219-170(九州支社ダイヤル) info@tokyodo-in.co.jp

【道衣・帯に糸洲会ラベルお付け致します!】

英語・スペイン語字幕付き
収録時間／65分
企画・監修／坂上節明
制作・構成・編集／小田歩
定価／7,000円

【収録内容】

糸洲流の歴史
座礼
拳の握り方
立ち方
用意～直れ
部位の名称
攻撃法
防御法
受けの五原則
移動式
四方体さばき
肘当て五法・手刀打ち三法
基本型1～10
約束組手1～10
鍛錬組手
巻き藁突き



DVD「糸洲流空手道型大鑑」

シリーズ全5巻 英語字幕付き

監修・指導／坂上節明 企画・協力／日本空手道糸洲会総本部 カラー・120分

定価各巻／5,880円（税込） 会員価格／5,200円 制作／株式会社クエスト



「糸洲流空手道型大鑑」

DVD-BOX

5巻組・カラー550分

豪華ボックス仕様

5巻セット

会員特別価格 23,000円

会員必需品！ お求めは各道場責任者にお問合せください

発売／糸洲会総本部 〒230-0048 横浜市鶴見区本町通1-16-5
TEL: 045-521-6318 FAX: 045-503-2040